

Rikkyo English Online 利用状況

1. 概要

Rikkyo English Online (REO) は英語の自己自習を目的とし、立教大学の学生のみならず教職員が利用することも可能としたWeb学習プログラム（コンテンツ）となる。

2007年の導入以降、Webサーバの拡張・仮想化、2010年にエル・インターフェース社のAcademic Express2へのバージョンアップを経てコンテンツ・コースの追加等を実施し、学習コンテンツの充実化を図ってきた。2018年度より、TOEFLやIELTSに対応した教材が収録され、スマートフォン・タブレットでの利用が可能なAcademic Express3へのバージョンアップを行い、学習コンテンツの充実と利便性の向上を図ってきた。

2. 利用状況

利用人数（人）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	885	721	466	102	144	317	436	220	99	84	106	114
2022年度入学	345	116	47	47	69	65	39	34	38	23	39	56
2021年度入学	278	311	195	12	28	148	170	64	25	25	29	27
2020年度入学	105	110	83	24	26	54	84	32	19	20	16	15
2019年度入学	96	106	76	13	15	31	68	39	11	11	17	5
2018年度以前	61	78	65	6	6	19	75	51	6	5	5	11
入学予定者	8	2	2	2	0	0	0	0	934	1,350	1,662	2,476

表1：利用人数サマリ (Rikkyo English Online)

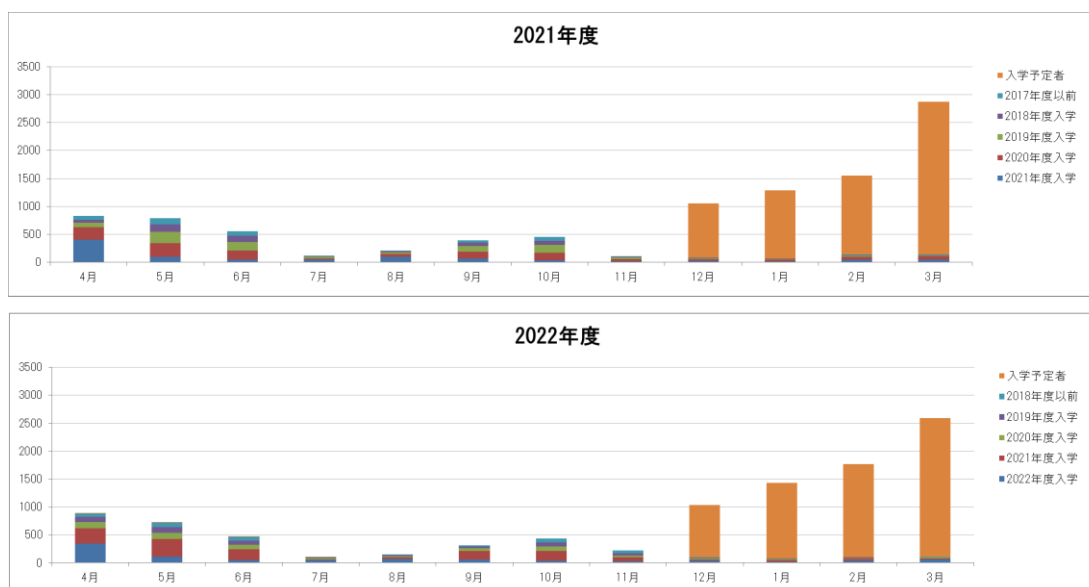


図1：前年度、今年度の利用人数グラフ (Rikkyo English Online)

3. 2022年度のまとめ

年間を通した利用については、例年通りに英語単位認定試験（4月～6月、9月～11月）と入学予定者（12月～3月）のそれぞれ課題出題の利用が集中しており、例年通り3月度が入学予定者への課題利用に伴い利用者が一番多く稼働が高い状況となっていた。

また、4月～8月にかけて一部の学部の秋学期入学予定者へも入学前課題の出題を開始したが、対象者も少なく若干名の利用に留まっていた。

2023年度は、秋学期入学予定者への入学前課題を出題する学部も増え、利用者の増加を見込んでおり、引き続き安定稼働に向けた活動を進めていく。